

### 03 平成の名古屋市民の森づくり

【日 時】 平成 29 年 5 月 13 日（土）10：40～16：00

【場 所】 木曾町福島戸立町有林、日義公民館（とことんコース）、大桑村（一般コース）

【内 容】 以下のとおり

現在第 3 期工事が進行中の「名古屋城本丸御殿復元事業」において木曾ヒノキが使用されていることから、木材の産地で名古屋市民による植栽・育樹を行い豊かな自然環境を将来に残そうと、名古屋城本丸御殿 PR 実行委員会（事務局：名古屋城総合事務所）の主催による「平成の名古屋市民の森づくり」が今年も開催されました。平成 21 年度から木曾町戸立町有林で行われ、今年で 9 回目となります。

当日は前夜から降り始めた雨が激しさを増す中、名古屋市民 109 名（バス 3 台）のほか、名古屋城総合事務所の西野所長以下職員等 23 名及びほか郡内関係者 40 名の合計 172 名で行われました。雨天で足元も悪く、バスを降りてから会場までの道のりも遠かったことから、参加者の中には参加を断念され、バス車中で待機される方が数名いらっしゃいました。

開会式典では、西野所長及び原木曾町長（木曾広域連合長兼務）よりご挨拶をいただいた後、木曾地域振興局林務課の説明と県林業士会木曾支部の実演により、チェーンソーを使った伐倒のデモンストレーションを行いました。

式典終了後、参加者は 12 の班に分かれて植樹作業を行いました。町村や森林組合などの上流域スタッフは各班で作業の指導員となり、始めに植樹作業の説明と実演を行っていただきました。参加者はそれぞれ鋤を手に 1 本ずつ丁寧に苗木を植えていきました。植樹のあとは、事前に配布されていたヒノキ製のプレートにメッセージを書き、目串に結びつけていきました。30 分ほど作業を行った後、中締めを集会を行い、午後は「一般コース」と「とことんコース」の 2 つのグループに分かれて行動しました。

午後も引き続き植樹作業を行う「とことんコース」（参加者 36 名）は、雨天のため作業を中止しました。日義公民館へ移動してから昼食をとり、午後 1 時 30 分から木曾地域振興局林務課職員を講師として「森林教室」を開催しました。昨年長野県内で行われた全国植樹祭の様子について映像を交えて紹介いただき、さらに木曾の森林や木に関することについてクイズ形式で解説していただきました。参加者の中には全問正解された方には、プレゼントとして全国植樹祭関連グッズが贈られました。

観光散策を行う「一般コース」（73 名）参加者は、大桑村農村体験交流センターで昼食をとり、村内各地を見学しました。昼食時には、地元の貴舟村長から歓迎あいさつをいただいたほか、伝統芸能の「須原ばねそ」を披露していただきました。昼食後は車両ごとに村内各地（白山神社、池口寺、木曾発電所、栗山木工）を見学しました。特に栗山木工では、本丸御殿の屋根に使われる「こけら板」を納品していることから参加者の関心も高く、1 本のナタだけを使って作る「へぎ板」の製作工程を熱心に見入っていました。

「とことんコース」は午後 2 時 30 分頃、「一般コース」は午後 5 時頃に名古屋市へ向けて出発されました。

なお、午前中の植樹作業で植えきれなかった苗木については、上流域のスタッフにより植栽していただいたほか、昨年に引き続き福井県の(株)グリーンコップ様のご協力により、苗木の食害防止のためのネット張りを実施していただきました。

※ 今回植樹した苗木：ヒノキ 550 本、コウヤマキ・クリ・ミズナラ・ナナカマド  
・ソヨゴ・ムラサキシキブ各 30 本…合計 730 本

◎ 当日の様子



開会式典の様子



名古屋城総合事務所西野所長あいさつ



原 木曾町長・連合長あいさつ



伐倒デモンストレーション



植樹作業の様子 1



大桑村貴舟村長より歓迎のあいさつ



一般コース「栗山木工」見学



とことんコース「森林教室」の様子